



「東日本大震災が発生した当日、夜を徹して入居者対応に奔走した」と語るのは、賃貸管理を行なうエレマックス（東京都渋谷区）の宇井茂社長だ。地震発生日の夕方、社員をコンビニに連れ出し、買い物かごいっぱいにカップ麺や水を買い込んだ。「今日は泊りだから」と、宇井社長が発した予想外の一言に、社員は驚愕（きょうがく）していたという。

夜9時ごろから徒步で帰宅した入居者からの電話が鳴りやまなくなり、「エレベーターが動かない」「水が流れっぱなし」と、対応に追われた。社

員10人全員が交代で休憩をとりながら、購入したカップ麺で2泊3日を耐え抜いたという。「非常に事態にこそ、管理会社が果たす役割が明確に見えてきた」（宇井社長）

**夜を徹した震災時
社員総出で対応**



エリマックス
(東京都渋谷区)
宇井茂社長(51)

**『ギングダム』から
リーダー像学ぶ**



東急少額短期保険
(東京都渋谷区)
片岡純一社長(30)

員10人全員が交代で休憩

をとりながら、購入した

カップ麺で2泊3日を耐

え抜いたという。「非常

事態にこそ、管理会社

が果たす役割が明確に見

えてきた」（宇井社長）

え抜いたという。「非常

事態にこそ、管理会社